

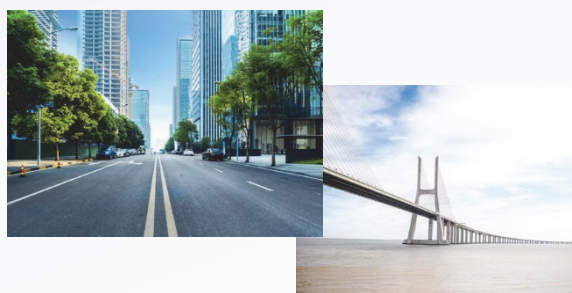
鹿島道路株式会社

課題① インフラの老朽化

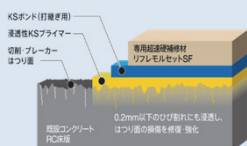
日本のインフラは高度経済成長期に集中的に整備された。今後20年間で建設後50年以上経過する施設の割合が急速に高まる。

課題② 再破損を繰り返さない維持管理

補修をしても再破損を繰り返すことのない、効果的な維持管理が求められている。



鹿島道路のご提案



「床版EQM工法」の活用

EQMとは・・・

Everybody Easy Quickly high-Quality Maintenanceの略で
誰でも、簡単に、素早く、高耐久に直せる工法を意味します。

特徴① 粘性の異なる2種類の接着剤を効果的に使用

特徴② 新旧コンクリートの一体化で耐久性が向上

[主な効果]

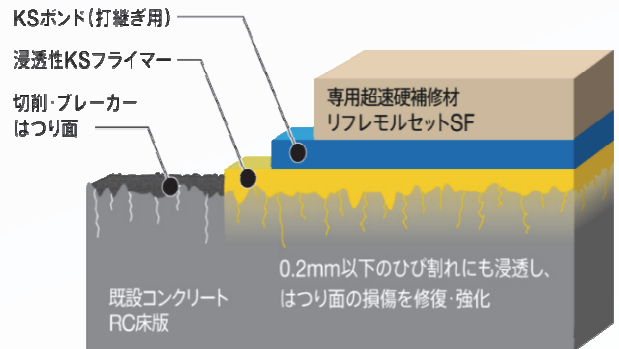
予防保全

ライフサイクル
コストの削減
(長寿命化)

工事発注の
平準化に寄与

床版EQM工法の概要

- 01 断面修復材は人力でもモービル車でも製造可能**
 小規模の補修は、袋物をハンドミキサーで練り混ぜ、中・大規模の補修はフレコンをモービル車に供給して製造するなど、規模による使い分けが可能です。
- 02 断面修復材は補強繊維までプレミックス**
 リフレモルセットSF・SP（床版用）共に補強繊維までプレミックスされており、水を加えて混合するだけで高耐久性断面修復材が製造可能です。
- 03 2つの接着剤と断面修復材は施工性が良好！**
 断面修復材は混練りしやすく、柔らかなモルタルで、通常の左官作業と同様なハンドリング性で作業しやすく、仕上げも容易です。
- 04 ひび割れ幅0.05mmで深さ30～60mm程度浸透**
 毛細管現象で接着剤が浸透。特にブレードカハツリ時の衝撃によって生じたマイクロクラックと脆弱部への浸透に有効です。
- 05 断面修復材は既設床版との追随性が良好で高耐久**
 断面修復材の静弾性係数は、既設床版とほぼ同等なため、付着界面に生じるせん断応力の低減により、疲労抵抗性の向上を図っています。
- 06 寒中施工への適性に優れた断面修復材**
 超速硬タイプのリフレモルセットSFは材齢3時間程度で24N/mm²を発現。また低温ほど早期に強度を発現します（10℃以下では2時間程度で24N/mm²）。



「床版EQM工法」概要図

鹿島道路の総合マネジメント力

鹿島道路は、道路舗装工事だけでなくスポーツ施設、学校・教育施設などの外構工事の実績もあります。また、調査・点検、評価・診断、環境に配慮した計画から合理的な施工、維持・管理、補修・保全まで、豊富で確かな技術力をもとに生活を支える社会資本のトータルマネジメントを実現します。

